



Japan. Cool Japan.

「新たなクールジャパン戦略」の進捗状況

令和7年3月13日
知的財産戦略推進事務局

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す**
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する
- (6) 官民の連携体制を強化する

コンテンツ

(1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す

- コンテンツ産業を基幹産業として位置づけ、PDCAサイクルを高速に回しながら、産業の成長、国際競争力の強化、海外展開の推進に取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 日本発のコンテンツの海外市場規模を、2033年までに20兆円とすることを目標値とし、目標値の計測に必要な統計データの改善・整備を検討

- クリエイターを含めた官民協議会の設置

主な進捗状況

【知財】 関係省庁とともに、コンテンツ産業官民協議会等において進捗状況を共有し、議論。

【知財】 令和6年9月にコンテンツ産業官民協議会及び映画戦略企画委員会を立ち上げ、第1回会議を令和6年9月、第2回会議を令和7年2月に実施。

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める**
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する
- (6) 官民の連携体制を強化する

コンテンツ

(2) 海外へのビジネス展開力を高める

- 海外のマーケティング情報の収集・共有化、海外の現地プレイヤー等とのマッチング機能の強化、分野連携・クロスオーバーの展開、情報発信における多言語化対応、海外の大規模作品（実写）のロケ誘致による技術力の向上や海外へのPR、国際水準ベースの労働環境の整備やコンプライアンスの徹底、日本独自の商慣習の見直しなどに取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- JETROにコンテンツ専門人材を配置し、コンテンツ産業の海外展開支援や現地マーケット等へのコアネットワークの構築を推進
- グローバルに競争力を有する映像作品の制作費支援、プリプロダクションへの支援の推進。支援にあたり、コンプライアンスの遵守や労働環境の改善等の条件化の検討
- コンテンツの海外展開のための制作能力の強化、制作・流通ノウハウの取得、流通プラットフォームの機能強化、プロモーションやローカライゼーション等の支援を推進

主な進捗状況

【経産省】 ロサンゼルス、バンコク、ニューデリーの既存拠点に加え、令和6年度補正予算において、パリ、上海、ソウル、サンパウロの4拠点の増設を予定。

【知財】 経産省における取組の進捗状況を確認。

【経産省】 令和5年度補正予算事業においてプリプロダクションや制作費等を支援。令和6年度補正予算事業でも同様の支援を実施する。

【経産省】 令和5年度補正予算事業において、プロモーションやローカライゼーション等を支援。令和6年度補正予算事業でも同様の支援を実施する。

【文化庁】 メディア芸術の将来を担うクリエイターやアニメーター等の育成・水準向上に関する取組を実施。

【総務省】 令和6年度補正等により、先進的設備等を活用した放送コンテンツ（実写）の製作促進、人材育成、海外配信プラットフォーム実証事業を実施予定。

(2) 海外へのビジネス展開力を高める

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 美術館での作品の展示機会の確保に係る支援、国際映画祭等における日本パビリオンの出展やその場での作品のプロモーションの支援を検討

- 日本コンテンツのグローバルなファンダム形成に資する海外現地におけるライブ公演等への支援を推進

- 既存ガイドラインの改訂等により、ロケ誘致を推進。あわせて、ロケ誘致による観光促進のためにロケツーリズムを推進

主な進捗状況

【経産省】令和5年度補正予算事業において、国際的なイベントでのプロモーション等を支援。令和6年度補正予算事業でも同様の支援を実施する。

【文化庁】各種国際映画祭の見本市に「ジャパン・ブース」を設置し、運営。国際共同製作支援事業を含む様々な情報発信やイベントを実施。

【総務省】放送コンテンツの国際見本市における放送事業者等と連携したジャパンパビリオン設置、セミナー開催等を実施。

【経産省】令和5年度補正予算における補助金事業（プロモーション支援）において、海外公演の実施等を支援。

【知財ほか関係省庁】「ロケ撮影の円滑な実施のためのガイドライン」を改訂（令和7年3月中に公表予定）。

【文化庁】各種国際映画祭の見本市においてロケ誘致に関するチラシの配布やポスターの掲示など、広報活動を実施。

【観光庁】平成28～30年度において、ロケツーリズム協議会に対する支援を行い、ネットワークの構築やノウハウの共有、全国ロケ地マップを作成・配布。

(2) 海外へのビジネス展開力を高める

新たなクールジャパン戦略の方向性

- ロケ誘致による産業振興を効果的に実現すべく、VFXを含むポストプロダクション工程も含めた誘致に向けて、インセンティブ付与及び効果的な運用を推進

- 現代的な文化・情報発信拠点等とするため、民間活力等による国民公園や公的施設の機能を強化

- メディア芸術分野の振興のための機能をもつ「メディア芸術ナショナルセンター」（仮称）の拠点整備に向けた取組を推進

- 国内外有識者、出版業界等からなる関係者協議会を構築し、図書館等への推薦作品リストを整備

- 文学作品やマンガ等について、作家ごとの海外展開や包摂性のあるテーマに基づいた海外展開への支援、及び、翻訳や批評ができる海外の専門家の発掘・育成の推進

主な進捗状況

【経産省】 令和5年度補正予算事業において海外制作会社による国内ロケ誘致等を支援。令和6年度補正予算事業でも同様の支援を実施する。

【文化庁】 北の丸公園に位置する文化施設について様々な相談に乗るなど、各施設の要望に応じた支援を実施。

【環境省】 北の丸公園の特性を活かした更なる魅力向上を目指し、機能強化に向けた取組を検討。

【文化庁】 令和6年度補正にて収蔵施設の基本設計等の実施予定。また、令和7年度当初予算案に、国立美術館への専門人材の配置等に係る経費を新たに計上。

【文化庁】 米国の図書館における日本のマンガ導入に係る現状や課題について調査を実施。米国、フランス、スペインにおいて専門家による検討を開始。

【文化庁】 引き続き、文学作品やマンガ等を海外に発信し普及するための仲介者への支援、優れた翻訳家等の発掘・育成を実施する。

(2) 海外へのビジネス展開力を高める

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 外交・交流強化が必要な国において、対日理解を促進するとともに、日本映画をはじめとする映像コンテンツの視聴需要を高めるなど、海外展開の土壌づくりを推進

主な進捗状況

【外務省】現地のニーズを踏まえ、劇場等での上映を実施。令和6年8月から、国際交流基金が映像配信サイト「JFF Theater」にて日本映画等の配信を開始。

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める**
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する
- (6) 官民の連携体制を強化する

(3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める

- 製作の DX 化、ブロックチェーン／Web 3 や NFT などの新たな技術を活用したビジネスモデルの構築や、デジタルアーカイブの推進、権利保護とのバランスを踏まえた生成 AI の利活用を推進する。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- ジャパンサーチを基軸としたデジタルアーカイブの取組の推進。2026年度以降の戦略を策定し、コンテンツのデジタル化等の取組を推進

- 新たなデジタル技術等を活用した良質なデジタルコンテンツの創出を促すとともに、そのようなコンテンツを制作・発信できるクリエイターの育成を支援

主な進捗状況

【知財】 「デジタルアーカイブ戦略懇談会」および「デジタルアーカイブ推進に関する検討会」を開催し、新戦略の策定に受けて検討中。

【文化庁】 メディア芸術の将来を担うクリエイターやアニメーター等の育成・水準向上に関する取組を実施。

【経産省】 令和5年度補正予算事業でエンタメ・クリエイティブ産業において高品質なコンテンツ等を制作するスタートアップ等に対し支援。引き続き実施予定。

(3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 公正かつ自由な競争の実現に向けて、海外プラットフォームとの対等な関係が構築されるよう、実態を把握



主な進捗状況

【公正取引委員会】令和6年3月に「コネクテッドTV及び動画配信サービス等に関する実態調査報告書」を公表、令和7年1月に同報告書の英訳を公表。

【文化庁】文化庁文化審議会著作権分科会政策小委員会において、クリエイターへの対価還元について、実態把握を行うとともに適切な対価還元に向け検討。

【総務省】海外プラットフォームとの取引環境について、放送事業者や番組制作会社等から必要に応じてヒアリングを行うなど実態の把握を行った。

【知財】第1回構想委員会において、配信プラットフォーム等との契約の在り方に関して議論。

- 改正著作権法に基づく未管理公表著作物等の利用に関する裁定制度の円滑な運用に向けた必要な準備を実施、あわせて、「分野横断権利情報検索システム」を構築



【文化庁】未管理著作物裁定制度の事務の事務を担う登録確認機関、指定補償金管理機関の登録、指定に向け、関係団体への事前説明会を実施。

【文化庁】登録確認機関が定める使用料相当額算出方法規程の検討に資するよう、著作物取引市場における使用料相場の調査を実施。

【文化庁】「分野横断権利情報検索システム」について、システム要件定義等を実施。令和8年春頃までに、利用者による権利者探索に資するシステムを構築する。

(3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> 分野を横断する一元的な窓口組織による新しい権利処理の仕組みを含めた、簡素で一元的な権利処理が可能となるような制度の実現を促進 	<p>【総務省】放送コンテンツのネット配信に当たり行わなければならない膨大な権利処理の効率化に資するシステムの構築について実証を実施予定。</p> <p>【総務省】通信関係事業者の協力体制及び役割分担の枠組みについて、その交渉等を円滑にする観点から、通信関係事業者の協力を要請。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 日本独自のプラットフォームが少ない状況に鑑み、日本独自のプラットフォームの創出や二次流通プラットフォーム等への支援を検討 	<p>【知財】コンテンツ産業官民協議会等の場において関係省庁とともに検討</p>
<ul style="list-style-type: none"> 実写について、独自の流通チャネルの確保の在り方等について検討 	<p>【総務省】令和6年度補正等により、国内配信事業者と連携した放送コンテンツの海外配信プラットフォーム実証事業をアジアの特定国にて実施予定。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 店舗等におけるレコード（原盤）の演奏や公への伝達に関し、実演家及びレコード製作者への望ましい対価還元の在り方について検討 	<p>【文化庁】権利者団体から、レコード演奏・伝達権の導入に向けた国民の理解醸成、円滑な徴収体制等に係る検討状況について聴取し、議論を実施。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「AIと著作権に関する考え方について」に基づき、著作権制度等に関し、周知啓発を促進。必要に応じ、更なる明確化に向けた検討と、検討結果の周知を継続的に実施。 	<p>【文化庁】関係当事者の立場ごとに分かりやすくまとめた「AIと著作権に関するチェックリスト&ガイダンス」の作成・公表など周知・啓発を実施。</p>

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 生成AIにおける俳優や声優等の肖像や声等の利用・生成に関し、不正競争防止法やその他の関連法との関係について、考え方を整理

主な進捗状況

【経産省】俳優及び声優等の肖像や声の保護に関し、不正競争防止法における考え方の整理を検討中。

【文化庁】「肖像・声の保護」と著作権の関係も含め調査研究を実施。文化審議会著作権分科会政策小委員会法制度に関するワーキングチームにおいて議論。

【特許庁】俳優及び声優等の肖像や声の保護に関し、商標法との関係について、考え方を整理中。

【法務省】パブリシティ権侵害に関する不法行為に基づく損害賠償請求につき、近時の下級審判例を調査。刑法等の罪で適用可能なものがないか、裁判例を調査。

【消費者庁】AI等の技術進展が消費者取引環境に与える影響についての基本的な考え方等を検討。消費者保護法制に違反する場合、法と証拠に基づき適切に対応。

(3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<p>□ AI時代の知的財産権検討会「中間とりまとめ」等を踏まえ、各知的財産法とAIの適用関係や各主体に期待される取組例等について周知し、取組を促進</p>	<p>【知財】 周知資料として、「AI時代の知的財産権検討会中間とりまとめ 権利者のための手引き」を作成し、2024年11月に公表。</p> <p>【経産省・総務省】 令和6年11月に「AI事業者ガイドライン」を更新、さらに令和7年3月頃に更新。</p> <p>【文化庁】 関係当事者の立場ごとに分かりやすくまとめた「AIと著作権に関するチェックリスト&ガイダンス」の作成・公表など周知・啓発を実施。</p>
<p>□ 生成AI及びこれに関する技術についての共通理解の獲得、海賊版を掲載したWebサイトに関する情報等の共有など関係当事者間における適切なコミュニケーションを促進</p>	<p>【文化庁・経産省】 関係当事者間のコミュニケーションの場を創設し、情報共有や相互理解の促進を実施。</p>

(3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<ul style="list-style-type: none">□ メタバース等の利活用に関して、社会実装に係る有効な方策や、自由で多様性に満ち、かつ安全・安心なメタバース空間の構築に向けた有効な方策について検討	<p>【総務省】令和6年10月に、メタバース関連サービス提供者に期待される取組をまとめた「メタバースの原則（第1.0版）」を策定・公表。</p> <p>【総務省】OECDのデジタル政策委員会等、関係する国際的な検討の場において、国内でのメタバースに関する議論のインプットを実施。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ コンテンツ分野における NFT の活用について、コンテンツホルダーの権利保護や利用者保護の課題に対応するよう、必要な施策を推進	<p>【経産省】令和6年度補正で、「コンテンツ保護のためのガイドライン」を策定。令和7年3月末をめどに公開予定。</p> <p>【文化庁】著作権制度の周知啓発の中で、NFTの活用に関してコンテンツホルダーの権利保護や利用者保護についての周知を実施。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ Web 3 やメタバース等の次世代技術を活用した、クリエイターを支援する環境整備、IPを活用したビジネスモデルの高度化、新たなコンテンツ体験価値の提供を支援	<p>【経産省】令和6年度補正で、デジタル技術等を活用したエンタメ・クリエイティブ産業の付加価値創出を支援予定。</p> <p>【文化庁】令和6年度補正で、デジタル技術等を活用した文化芸術活動の価値の可視化・最大化、データ等の集積による付加価値の創出を支援予定。</p>

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する**
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する
- (6) 官民の連携体制を強化する

(4) コンテンツ産業を支える人材を強化する

- 海外派遣も含めた人材育成のための枠組みの構築、デジタルクリエイターの育成、実践的なプロデューサーの育成強化、スタートアップ等の活用、求められるスキルの具体化・見える化と高等教育における重点整備、スキルに応じた処遇の確保・待遇の改善、外国人の担い手の活用に取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 次代を担うクリエイター等による作品や公演の企画、交渉、制作、発表、海外展開までの一体的な活動について、複数年にわたって弾力的に支援

- クリエイター等（デジタルクリエイターを含む。）の発掘・育成、活躍の機会拡大等に向けた取組を支援

主な進捗状況

【文化庁】若手を対象としたクリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業については令和6年9月までに採択先を決定済。令和8年度まで引き続き事業を推進。

【文化庁】メディア芸術の将来を担うクリエイターやアニメーター等の育成・水準向上に関する取組を引き続き推進。

【経産省】令和5年度補正予算事業でエンタメ・クリエイティブ産業において高品質なコンテンツ等を制作するスタートアップ等に対し支援。引き続き実施予定。

【総務省】令和6年度補正等により、放送関係のプロデューサー又は制作技術担当者を対象とした海外展開に係る研修を実施予定。

コンテンツ

(4) コンテンツ産業を支える人材を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<ul style="list-style-type: none">□ トップレベルのアーティスト等を発掘し、グローバルレベルでのキャリアを積むことができる場への参加支援等、総合的な支援プログラムを官民共同で実施	<p>【文化庁】引き続き、現地のコミュニティ等の構築や、現地音楽フェス等での公演等を通じて、アーティストの評価形成及び海外展開を強力に推進。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ 最新技術を活用したコンテンツ制作・流通のサービス提供やクリエイターのビジネスサポートを行うスタートアップ等を支援	<p>【経産省】令和5年度補正予算事業でエンタメ・クリエイティブ産業において高品質なコンテンツ等を制作するスタートアップ等に対し支援。引き続き実施予定。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ 産業界が求める人材・スキルに関するミスマッチなどの実態について、官民連携して改善策を検討。必要に応じ、教育機関等における人材育成強化のための取組を支援	<p>【文科省】法人等からコンテンツ分野の大学の設置に関する相談があった場合は、引き続き対応。</p> <p>【文化庁】令和6年度補正予算で、必要なスキルを可視化するとともに、これらを海外も含めた実践の場で習得する育成プログラム等を開発・実装化する取組を支援予定。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ 著作物の利用に係る契約をサポートするため、フリーランスのクリエイター等を支援	<p>【文化庁】「著作権契約書作成支援システム」や「著作権契約マニュアル」を公開。これらの周知を実施。</p>

(4) コンテンツ産業を支える人材を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性

- クリエイターが事業展開する際の契約作成などに関する課題について、弁護士等の専門家による個別支援を行う相談窓口の体制を強化

- 文化芸術分野の適正な契約関係の構築に向け、フリーランスの芸術家等を含む文化芸術関係者の活動環境の改善に向けた取組を推進

- コンテンツ産業における取引適正化、優秀な人材が働きたくなるような労働環境の改善、処遇・待遇の改善を推進

主な進捗状況

【文化庁】「文化芸術活動に関する法律相談窓口を開設中。大学等で出張相談会を実施。

【文化庁】文化庁公表のガイドラインの普及・啓発を目的とした研修会を実施。「文化芸術活動に関する法律相談窓口」として通年で開設中。

【内閣官房、公取委、厚労省、経産省】フリーランス・事業者間取引適正化等法について周知を実施。関係府省庁に対し取引慣行の適正化等の働き掛けを依頼。

【総務省】令和6年10月に「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」を改訂。引き続き、ガイドラインの遵守徹底を推進。

【経産省】アニメーション制作業における下請ガイドラインの改訂に向けた調査及び映適等の取組に対する支援を実施。

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する**
- (6) 官民の連携体制を強化する

(5) 官民一体となって海賊版対策を強化する

- コンテンツの海外展開を推進し、民間による正規版の流通促進等を支援するとともに、成長・拡大する海外市場で得られる著作権者等の正当な利益を確保しエコサイクルを回していくため、インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニューを踏まえて、官民一体となって対策の強化に取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 海賊版対策に係る実務者級の関係府省庁連絡会議を開催し、インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニューに基づく取組を政府一体となって推進

主な進捗状況

【知財】海賊版対策官民実務者級連絡会議を立ち上げ、官民一体となって議論。（第1回：令和6年9月、第2回：令和7年1月）

【警察庁】国際捜査共助・協力の枠組みの活用、権利者団体との連携等により、令和6年中、映画や漫画の海賊版事犯を検挙。引き続き取締りを推進。

【総務省】フィルタリングの利用促進のための方策を推進。インターネットの安全な利用に係る普及啓発を目的に、e-ネットキャラバンに係る取組を実施。

【法務省】海賊版に関して生ずる広告収入に係る民事上の請求権について検討中。

【法務省】全国の検察庁に対し、海外の海賊版サイトによる著作権侵害の実情及び関連する文化庁の著作権法の解釈について周知。

【外務省】実務者級連絡会議への出席に加え、関係府省庁との連携の下、引き続き関連の取組を実施。

(5) 官民一体となって海賊版対策を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 海賊版対策に係る実務者級の関係府省庁連絡会議を開催し、インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニューに基づく取組を政府一体となって推進

- 海外の現地の人々に向けて、海賊版サイト等の対策のため、普及啓発や国際会議等における働きかけ等の取組を官民一体となって推進

主な進捗状況

【文化庁】海賊版対策事業の実施状況について、実務者級連絡会議等において情報共有し、関係事業者・府省庁と連携しながら海賊版対策を推進。

【経産省】海賊版対策事業の実施状況を、実務者級連絡会議等において情報共有。CODAを通じた国際連携・国際執行を中心に海賊版による被害低減に向けた取組を実施。

【知財】海賊版対策官民実務者級連絡会議において、海賊版対策の普及啓発や国際連携・国際執行等の強化に向けて、官民一体となって議論。

【総務省】国際会議等にて、関連民間企業等と連携し、海賊版サイト等の現状や取組を周知するとともに、継続的な議論及び対策の必要性について働きかけを実施。

【法務省】捜査共助に関する二国間協議の実施等を通じて外国当局との捜査協力を推進。

【外務省】知的財産担当官をはじめとする在外公館の対応体制の強化を含め、引き続き関連の取組を実施。

【文化庁】関係国との覚書に基づき、海賊版対策に関する二国間協議やセミナー等の開催、著作権保護の重要性に係る普及啓発を推進。

(5) 官民一体となって海賊版対策を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> 海外の現地の人々に向けて、海賊版サイト等の対策のため、普及啓発や国際会議等における働きかけ等の取組を官民一体となって推進 	<p>【経産省】被害の拡大しているベトナム等の地域での著作権教育・意識啓発や国際連携・国際執行の強化を実施予定。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 海賊版サイトの運営に利用される各種民間事業者のサービスについて必要な対策措置が講じられるよう、当該民間事業者への働きかけ等を推進 	<p>【総務省】民間の関係者会合にオブザーバ参加し、CDNやインターネット資源の悪用について、課題認識を共有し対応策を検討。</p> <p>【知財】海賊版対策官民実務者級連絡会議において、民間側で取り得る対策等についても官民一体となって議論。</p>
<ul style="list-style-type: none"> インターネット上の違法・有害情報への対応として、プラットフォーム事業者に対する実効的な対策を推進。 	<p>【総務省】プロバイダ責任制限法の改正（令和6年5月）に基づき、省令案等の制度整備を実施。</p>

コンテンツ

- (1) 基幹産業として、海外展開に関するデータを充実させ、PDCAサイクルを高速に回す
- (2) 海外へのビジネス展開力を高める
- (3) デジタル・ビジネスに対応した構造改革を進める
- (4) コンテンツ産業を支える人材を強化する
- (5) 官民一体となって海賊版対策を強化する
- (6) 官民の連携体制を強化する**

(6) 官民の連携体制を強化する

- インテリジェンス機能の整備、データ・戦略の共有に取り組むとともに、関係省庁の施策メニューを一覧化するなどユーザーフレンドリーな機能の構築・整備に取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

主な進捗状況

- クリエイターを含めた官民協議会の設置【再掲】

【知財】 令和6年9月にコンテンツ産業官民協議会及び映画戦略企画委員会を立ち上げ、第1回会議を令和6年9月、第2回会議を令和7年2月に実施。

- JETROにコンテンツ専門人材を配置し、コンテンツ産業の海外展開支援や現地マーケット等へのコアネットワークの構築を推進【再掲】

【経産省】 ロサンゼルス、バンコク、ニューデリーの既存拠点に加え、令和6年度補正予算において、パリ、上海、ソウル、サンパウロの4拠点の増設を予定。

【知財】 経産省における取組の進捗状況を確認。

- 政府が実施するコンテンツ産業の支援施策・支援ツールを体系的に整理・メニュー化し提供。各支援機関間の支援方針の共有・連携の強化

【知財】 コンテンツ振興に向けたポータルサイト等を用いた効果的な発信について、関係省庁との連携の在り方も含め検討中。

- コンテンツ産業の構造転換・競争力強化とクリエイター支援の一層の強化のため、中期的な財源確保等も含めた在り方について検討

【知財】 関係省庁等と連携しながら、コンテンツ産業官民協議会等において議論。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する

- 世界から求められる価値を体験することができる商品・サービスを提供し、体験価値による高付加価値化に取り組む。
- 国際水準ベースの価格で収益をあげ、その利益を更なる再投資につなげていく持続可能なエコシステムを構築する。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 地域資源を活用した体験コンテンツの開発、高付加価値な観光地づくり（アドベンチャーツーリズム、エコツーリズム、インフラツーリズムなど）

- 消費額の向上につながる新たな交流市場、観光資源の形成

主な進捗状況

【観光庁】高付加価値旅行者の誘客の促進に向けて、全国14のモデル観光地におけるコンテンツ磨き上げやプロモーション等の取組に対して集中的に支援を実施。

【環境省】国立公園について、国内外からの誘客を図るため、地域の自然・文化等を深く体験できるアクティビティの充実、品質向上、提供体制整備を実施。

【文化庁】インバウンドの地方誘客を進め地方創生につなげるため、文化財を高付加価値化して活用するためのコンテンツ造成事業を創設。

【文化庁】地域の歴史や文化を物語として認定する「日本遺産」を通じ、受入環境整備や観光コンテンツ化といった文化財の魅力向上につながる整備を実施。

【観光庁】観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、滞在コンテンツ造成や受入環境整備、情報発信・プロモーション等の取組に対して総合的な支援を実施。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する

新たなクールジャパン戦略の方向性

- ❑ 魅力をストーリーとして適切に伝えられる質の高いガイドの確保・育成、日本の食・食文化の魅力を伝えることができる人材の育成

主な進捗状況

【観光庁】訪日外国人からの需要が見込まれる分野の研修を実施。将来の担い手となり得る若年層向けに講演等を実施。

【農水省】和食文化を次世代に継承する人材育成の推進。伝統食のデータベース化を通じた情報発信を実施。

- ❑ 食文化や農山漁村の魅力と現地での体験等の海外への一元的な発信によるインバウンドと農林水産物等の輸出の相乗的な拡大

【農水省】2024年12月、SAVOR JAPAN認定地域が43地域に拡大（長野県松川町・山梨県みのぶ農泊地域を追加）。SNS等を活用した一元的な情報発信を実施。

- ❑ 新たな技術の活用を含む観光分野のDXの推進

【観光庁】全国の観光地のコンテンツの販路拡大・観光産業の生産性向上に資するデジタルツールの導入、データを活用した地域活性化モデルの構築等を支援。

- ❑ 古民家等の地域資源を活用した農泊の推進

【農水省】農泊地域の体制整備や経営強化、観光コンテンツとしての磨き上げ、国内外へのプロモーション、古民家を活用した滞在施設の整備等を一体的に支援。

- ❑ 漁村ならではの地域資源を活用した海業の全国展開

【農水省】海業の推進により漁村の活性化に取り組んでいる「海業の推進に取り組む地区」54地区を登録・公表するとともに、海業推進に向けた体制を強化。

- ❑ 国立公園のブランド化の推進、国立公園における滞在体験の魅力向上

【環境省】国立公園における滞在体験の魅力向上に取り組む「先端モデル事業」として、4つの国立公園を選定し取組を推進。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
❑ 2025年大阪・関西万博に向けて、最高峰の文化資源を活用した観光コンテンツの更なる磨き上げや創出	【文化庁】 2025年大阪・関西万博に向けて、「日本博2.0」の取組を全国各地で実施。
❑ 文化観光推進法 に基づく文化観光拠点の整備の促進、文化資源を中核とする観光拠点・地域の整備	【文化庁】 文化観光推進法に基づく取組を広げるための周知広報。日本遺産のモデル事例の形成。
❑ 食文化の明確化・価値化に向けた取組の支援、日本の魅力ある食文化の保護・継承・活用	【文化庁】 食文化の明確化・価値化等に向けた調査研究及び取組支援や民間主導の食文化振興の方策の構築・取組の支援。 【農水省】 伝統食のデータベース化を通じた情報発信を実施。
❑ 新規需要を取り込んだビジネス戦略への転換、日本ブランドの確立など「化粧品産業ビジョン」を踏まえた検討・取組を実施	【経産省】 日本化粧品工業会等産業界と経済産業省で連携して検討・取組中。
❑ ファッション産業の国際競争力強化のための持続可能なビジネスモデルやエコシステムへの転換	【経産省】 ファッション産業において持続可能なビジネスモデル等への転換を行えるスタートアップ等の支援を実施。
❑ 地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築	【知財】 地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築するための調査事業を実施予定。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 地方の魅力の発掘・磨き上げに取り組む高付加価値化の事例の収集



主な進捗状況

【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、モデル事例の調査・発信やクールジャパンを取り巻く環境を扱ったセミナー等を開催。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る

- 世界から真に何を求められているのかというマーケットインの視点をさらに重視した取組を進める。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 世界的な価値観、ライフスタイルの変化に合わせたブランド価値の向上による新規マーケットの開拓、既存マーケットの拡大

- 地理的表示（GI）産品の地域の観光資源としての活用や周知の推進

- 日本産酒類の認知度向上、海外バイヤーとのマッチング支援

- 海外のマーケティング情報の収集・共有化などの機能の強化

主な進捗状況

【農水省】 GI制度の活用推進、米粉の需要創出・利用促進、輸出実績の向上に貢献するJAS等の国際標準化等を推進。

【国税庁】 酒類事業者によるブランド化の取組や海外展開・酒蔵ツーリズムに関する取組の支援、地理的表示(GI)の普及・活用、技術支援等を実施。また、業界団体が自主基準として定めたジャパニーズウイスキーのブランド化推進の取組を支援。

【経産省】 伝統的工芸品の産地に対し、地域団体商標制度の活用を引き続き推進。（令和7年1月末で112団体）

【農水省】 インバウンド向けツーリズム造成及びモニターツアーへのGI産品の活用を推進。GI産品の観光資源としての活用の横展開を実施。

【国税庁】 国際的プロモーション等による認知度向上や日本の酒類事業者と海外バイヤーとのマッチング支援等による販路拡大を推進。

【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、海外マーケティング情報を扱ったセミナーを開催。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 海外における農林水産物・食品ブランド製品の模倣品等の流通を防ぐための対策の推進。

- クールジャパン機構を通じた海外需要開拓の支援

主な進捗状況

【農水省】模倣品等対策相談窓口の新設、海外現地やECサイトにおける模倣品調査・報告、相互保護の対象となる我が国GI製品の追加等。

【外務省】日EU・EPA及び日英EPAに基づく、EU及び英国における地理的表示（GI）の保護、不正利用の調査及び附属書改正による新規GIの追加等。

【経産省】世界が直面する様々な社会課題のうち、日本が強みを発揮しうる点を意識しながら、海外需要開拓の支援を実施。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する**
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（３）デザイン、アート機能を強化する

- デザインやアート機能を活用して横串を通し、クールジャパンの取組の底上げを図る。
- デザインのアーカイブ化、美術品等の積極的な活用、国際的なアートフェアの国内誘致などに取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

主な進捗状況

- アートの「新たな価値」を形成し、世界に発信していくための国際的な取り組みの実施

【文化庁】重要で関心の高いテーマについてシンポジウム等のパイロットプロジェクト、出版等を組み合わせた複合的プロジェクトを実施。

- 地方公共団体や企業等によるアート投資の促進

【経産省】地域の企業等が主体となるアート取組に関する実証や、企業による既存のアート取組に関する成功要因分析の調査等を実施。

- デザイン資源を活用できる基盤の整備、国内の美術品を保有する機関と連携したアーカイブの在り方の検討

【経産省】デザイン資源を活用できる基盤整備の実証としてウェブサイトを構築し、国内の施設の連携及びアーカイブの在り方を検討する有識者会議を実施。

- 国際的なアートフェア・オークションの国内誘致

【文化庁】アートウィーク東京の実施及びTEFAF幹部の来日・国内アートフェアの視察の実施。

- 国際的なイベントにおけるアートの国際発信

【文化庁】SUMMER SONICと連携して市内回遊型のアート作品を展示するMUSIC LOVES ART事業を実施。

- 美術品・文化財管理の国際標準の導入、流通促進のための基盤整備

【文化庁】価格評価事業者認定制度等の基盤整備を実施。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（４）イノベーション、人材育成を強化する

- イノベーションを生み出す中小企業やスタートアップの支援、新規参入しやすい環境の整備を図るとともに、新たな技術を活用した取組を推進する。
- プロデューサーの確保、育成、DX人材やガイドの育成を行うとともに、これらのプロデューサーが活動しやすい環境の整備を図る。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- イノベーションを生み出す中小企業／スタートアップの支援、新規参入しやすい環境の整備、新たな技術を活用した取り組みの推進

- イノベーションを通じた取組が行われていることなどを踏まえた、これまで海外展開が困難であった国・地域での新規マーケットの開拓

- 規制改革関連制度の利用促進

主な進捗状況

【経産省】 中小企業における高付加価値、革新的な商品・サービスの研究開発等を支援。次世代の業界を牽引するゲーム等の分野のエンタメスタートアップの事業化を支援。

【知財】 地方の資源をNFT化して流通させ、国際水準の価格で収益を得る仕組みの構築するたの調査事業を実施予定。

【農水省】 鮮度保持技術等に係るイノベーション創出を支援。輸出支援プラットフォームにおいて、新たな商流の開拓に向けた事業者の取組を支援。

【規制改革室】 規制改革関連制度の各種情報を公表するウェブサイトの構築。

【新資本】 事業者からの問い合わせ対応、サンドボックス制度の周知・広報、イベントへの出展やセミナー等で制度説明の実施。

【経産省】 規制改革関連制度を解説・整理した「規制対応・規制改革参画ツールの活用に関するガイダンス」を改訂し、関係省庁と協力して情報発信を強化。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（４）イノベーション、人材育成を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<ul style="list-style-type: none">□ 多くの分野の連携の創出（「コンテンツ」×「インバウンド」、「食」×「インバウンド」、「自然・文化体験」×「インバウンド」）	<p>【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームを通じて、分野間連携により高付加価値を実現したモデル事例を調査・発信。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ 魅力をストーリーとして適切に伝えられる質の高いガイドの確保・育成、日本の食・食文化の魅力を伝えることができる人材の育成【再掲】	<p>【観光庁】 訪日外国人からの需要が見込まれる分野の研修を実施。将来の担い手となり得る若年層向けに講演等を実施。</p> <p>【農水省】 和食文化を次世代に継承する人材育成の推進。伝統食のデータベース化を通じた情報発信を実施。</p>
<ul style="list-style-type: none">□ 地域におけるクールジャパンの担い手、プロデューサーやアドバイザーの招聘、地方のアカデミアとの連携。	<p>【知財】 クールジャパンプロデューサーによる海外マーケティング、地域連携、ブランド化、デジタル技術・テクノロジー等の活用に関する情報提供等を実施。</p>

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

（５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する

- 農林水産物等について、輸出先の多角化や新規開拓に取り組む。インバウンドについても、マーケットの多角化・分散、新規開拓に取り組む。
- 国際的な様々な規制の動向等を把握し、適切に対応する。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 海外マーケットのニーズを適切に把握、輸出先の多角化、新たなマーケットの開拓

主な進捗状況

【農水省】 認定品目団体やジェトロ・JFOODOが連携して行う海外の新市場開拓、インバウンドによる食関連消費の拡大、食品産業の海外展開等を支援。

【国税庁】 国際的プロモーション等による認知度向上や日本の酒類事業者と海外バイヤーとのマッチング支援等による販路拡大を推進。

【観光庁】 持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進をキーワードとし、国・地域ごとのニーズを踏まえた効果的なプロモーションを実施。

- 日本の農林水産物等の輸出等に不利な影響が及ばないよう、政府、民間それぞれのレベル、ルートで適切に対応

【農水省】 日本産農林水産物・食品の安全性を証明する科学的データの収集・分析や諸外国の新たな規則に関する調査・分析を実施。

【国税庁】 輸出の障害となる規制を把握した場合には、必要に応じて関係省庁と連携し、緩和・撤廃に向けた国際交渉を実施。

【外務省】 一部公館において、食品輸出に係る相手国・地域の規制等に関する情報収集等を現地コンサル等に委嘱する事業を推進。

横断的な取組（インバウンド、農林水産物・食品輸出、地域の魅力発信など）

- （１）体験価値化、高付加価値化を進め、持続可能なエコシステムを構築する
- （２）マーケットインの視点を重視した価値訴求により市場の新規開拓・拡大を図る
- （３）デザイン、アート機能を強化する
- （４）イノベーション、人材育成を強化する
- （５）国際的な政治・経済情勢リスクに対応する
- （６）発信力を強化する

（６）発信力を強化する

- 日本の魅力を多くの国・地域に届けるため、発信力の強化に取り組む。

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 在外公館やジャパン・ハウス等を通じて、関係府省、関係機関等と連携して、戦略な広報・文化活動を展開

- ジャパン・ハウスの発信力の更なる活用・強化。

- 政府の国際広報による情報発信の強化。

- 日本の強いIPをを活用したトップセールスの継続的な実施。

主な進捗状況

【外務省】 在外公館や国際交流基金、ジャパン・ハウスを通じた日本の魅力の発信及び諸外国の日本に対する興味・関心を高める取組を実施。

【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームで表彰した映像作品を在外公館等を通じて上映することで日本の魅力を世界に発信。

【外務省】 ジャパン・ハウスの利活用について、イベント開催だけに終始せず、中長期的に商流等の確保につなげていくための助言・指摘を実施。

【知財】 クールジャパン関係者の取組をジャパン・ハウスを通じて発信していくための検討を実施。

【政府広報】 SNSを活用した拡散も含めて連携し、それぞれの知見やリソースを活かして発信力をさらに高め合い、政府の国際広報による情報発信を強化。

【知財】 各省が行っている海外イベントについて、開催状況の把握を実施。

（６）発信力を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
<p>□ 器や箸など食に関わるモノと一体的なプロモーション</p>	<p>【農水省】 NY国連総会及びダボス会議の食イベントで伝統的工芸品（輪島塗酒器）と一体的なプロモーションを実施。</p> <p>【国税庁】 農林水産省の取組のうち日本産酒類に関するものについて協力・連携。また、酒類事業者による、酒器や伝統的工芸品と一体的なプロモーション等の支援。</p>
<p>□ 日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術のユネスコ無形文化遺産への登録、普及啓発活動</p>	<p>【国税庁】 令和6年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された「伝統的酒造り」について、シンポジウムの開催等、様々な普及啓発活動等を実施。</p> <p>【文化庁】 令和6年12月に伝統的酒造りがユネスコ無形文化遺産へ登録。普及啓発活動等の実施。</p>

（６）発信力を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性

- 2025年大阪・関西万博における日本の魅力の発信

主な進捗状況

【知財】大阪・関西万博を日本の魅力を世界に発信する好機と捉え、アニメやマンガのゆかりの地による、作品と地域の魅力を掛け合わせた展示を開催予定。

【観光庁】大阪・関西万博を契機とした全国への誘客を促進するため、地域資源を活用した観光コンテンツの造成支援及びJNTO（日本政府観光局）による情報発信。

【農水省】「食と暮らしの未来ウィーク」期間中の出展に向け、関係各部署出展展示の準備。

【国税庁】「食と暮らしの未来ウィーク」期間中に実施を予定している「日本産酒類の情報発信」をテーマとした展示の準備。

【文化庁】食文化やアイヌ文化についての出展・展示の準備。

（６）発信力を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性

□ 外国人ネットワークの積極的な活用

□ 海外との大学間連携の推進及び地域等と連携した大学の国際化や留学生交流の推進

主な進捗状況

【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームで国内の外国人コミュニティの実態把握に関する調査を実施。

【法務省】 外国人起業活動促進事業（スタートアップビザ）の最長在留期間の延長措置を実施。

【文科省】 海外から留学を促進するため、日本留学サポート体制の強化を図ること等を目的とした海外拠点を設置し、日本留学誘致のための取組を実施。

【金融庁】 金融機関や外国人の受け入れ企業に対し、外国人の口座開設等の金融サービスの利便性向上に向けた周知を実施。

【国交省】 多言語による住宅探し関連等の情報提供の他、居住支援法人制度及びセーフティネット登録住宅制度を活用した在留外国人等への支援の取組を推進。

【文科省】 高校段階からの多様な国・地域からの優秀な外国人留学生の受入れ等留学モビリティの拡大及び基盤となる教育の国際化のための取組を実施。

（６）発信力を強化する

新たなクールジャパン戦略の方向性	主な進捗状況
□ クールジャパン官民連携プラットフォームの海外発信の強化	【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームで外国人目線で日本の魅力を探求し発信していくための取組を実施。
□ クールジャパン関連施策・支援ツールのユーザーフレンドリーな形での提供	【知財】 内閣府のクールジャパン推進に関するホームページにつき、各種情報にアクセスしやすくなるよう抜本的改修を実施。
□ クールジャパン機構とクールジャパン官民連携プラットフォームの連携	【経産省】 クールジャパン機構の既投資案件についてクールジャパン官民連携プラットフォームに参加した会員との情報共有や連携支援を実施。 【知財】 クールジャパン官民連携プラットフォームが実施するセミナーについてクールジャパン機構を含む関係府省庁・関係機関に情報提供を実施。